

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	645 廃棄物の処理の適正化に関する事業					
予算科目	01-040201-11 清掃に要する経費			担当部課	生活環境部環境衛生課	
市長公約				係名	計画管理係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	茨城県廃棄物の処理の適正化に関する条例			SDGs	12つくる責任つかう責任	

事業の概要

対象	職員
目的	職員の知識の向上を図るとともに、茨城県と廃棄物の処理の適正化について連携をとる。 旧町村最終処分場跡地を適正に管理する。
概要 (取組内容)	茨城県清掃協議会主催の研修会や視察に参加し、職員の廃棄物処理に関する知識の向上を図る。 茨城県廃棄物処理施設の設置に係る事前審査要領に基づいて、関係各課の意見をとりまとめ茨城県に提出する。 旧町村最終処分場跡地に汚染がないか水質検査を実施する。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	1,091	1,091	1,006	15,443	1,088	
	決算額	(千円)	575	1,207	992	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	575	1,207	992	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	680	684	681	4,086	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.10	0.10	0.60	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	研修参加者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
	実績	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	団体等が実施する研修会へ参加した人数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	特になし	
成果	<p>コロナ禍の影響により、茨城県清掃協議会の研修会及び視察は実施されなかった。 茨城県から廃棄物処理施設の設置に係る意見照会を受け、事前審査報告を1件行った。 旧町村最終処分場跡地4か所（安食、上境、上郷、研究学園三丁目）の地下水水質検査を行い、いずれの場所においても基準値以下であり、汚染がないことを確認した。</p>	
課題	業務	特になし
	組織、予算等	茨城県清掃協議会から来年度以降の事業を見直し、今後は研修会及び視察を行わないとの通知があったため、指標の見直しを行う必要がある。
改善目標	市内に一般廃棄物の最終処分場を持たず、市外の民間処分場に処理を委託しているため、長期的な視点で最終処分方法について検討するための調査を行う。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	拡大・拡充
理由	長期的な一般廃棄物の最終処分方法の在り方について検討するため、調査比較のための業務委託を行う。

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	646 管路輸送施設の管理事業					
予算科目	01-040202-11 管路輸送施設の管理に要する経費			担当部課	生活環境部環境衛生課	
市長公約				係名	計画管理係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs	12つくる責任つかう責任	

事業の概要

対象	施設
目的	平成20年度末で事業廃止となった管路輸送施設（管路輸送センター及び管路投入口、埋設管）を適正に管理する。
概要 (取組内容)	管路輸送施設及び敷地植栽の管理を行う。 筑波大学職員宿舎（吾妻2丁目）内の管路輸送施設埋設管の撤去について筑波大学と協議を行う。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	4,426	4,426	30,135	64,809	4,344	
	決算額	(千円)	4,252	4,861	4,197	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	4,252	4,861	4,197	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	3,400	2,050	2,043	2,043	2,043	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.50	0.30	0.30	0.30	0.30
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	筑波大学と協議を行い、職員宿舎と管路輸送施設埋設管の工事を一体的に行うこととなった。	
成果	管路輸送施設について場内警備・消防設備点検・植栽管理・清掃を行い、安全性の確保や周辺環境の維持を行った。 筑波大学職員宿舎の埋設管撤去について、筑波大学と協議し、一体的に工事を行うこととなった。工事に関する契約は令和5年度の予定。	
課題	業務	特になし
	組織、予算等	管路輸送施設埋設管撤去工事について、今年度から令和5年度までの継続費として予算措置を行っていたが、令和4年度中に契約に至らなかった。
改善目標	筑波大学と協議を行いながら、埋設管撤去工事の契約及び実施し、令和5年度中に完了する。	

評価

市民ニーズ	-	ニーズが不明である。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	拡大・拡充	
理由	管路輸送施設埋設管撤去のための継続費が増額となるため（令和4年度3割、令和5年度7割）	

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	647 家庭ごみ収集事業					
予算科目	01-040202-12 塵芥処理に要する経費			担当部課	生活環境部環境衛生課	
市長公約				係名	ごみ減量推進係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	つくば市一般廃棄物処理基本計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律			SDGs		

事業の概要

対象	市民
目的	生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。
概要 (取組内容)	一般家庭及び公共施設から分別排出される一般廃棄物（ごみ）を収集し、サステナスクエアへ運搬する。 区会・住民団体等が設置するごみ集積所について、補助金交付要綱に基づき補助金を交付する。 補助金額：設置費用の1/2（補助限度額50,000円）

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	674,137	685,287	793,690	785,873	785,783	
	決算額	(千円)	673,490	685,287	773,316	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	673,490	685,287	773,316	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	8,283	8,323	11,182	11,019	11,019	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.20	1.20	1.60	1.60	1.60
		正職員時間外勤務	(時間)	50.00	50.00	117.00	50.00	50.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

指標名	家庭ごみ収集量 (t)					活動結果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1 目標値	59,314.0	59,789.0	60,036.0	60,224.0	60,322.0	60,446.0
実績	54,811.0	55,887.0	55,462.0	54,967.0	0.0	0.0
指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	適正な収集業務が行われるよう、抜打ちによる搬入検査（展開検査）の頻度を増やした。また、委託収集業務を一括契約し、緊急時の際にも安定した業務遂行ができるよう体制を構築した。	
成果	市民の生活環境を良好に保つことができた。また、ごみ飛散のない集積所（ダストボックス等）の設置を進めることができ、公衆衛生の向上を図ることができた。 ごみ減量を促進するため、資源物の分別徹底を促す集積所用看板を作成した。	
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標	年間35件の搬入検査を実施し指導を行ったが、来年度は更に検査件数を増やす。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	648 犬等死骸処理事業					
予算科目	01-040202-12 塵芥処理に要する経費			担当部課	生活環境部環境衛生課	
市長公約				係名	ごみ減量推進係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	全て委託	
個別計画	つくば市一般廃棄物処理基本計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律			SDGs		

事業の概要

対象	市民
目的	生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。
概要 (取組内容)	道路等公共用地で発見された動物の死骸を回収し、処理する。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	11,600	10,989	12,758	14,960	14,960	
	決算額	(千円)	10,908	11,693	14,117	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	10,908	11,693	14,117	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,397	1,404	1,362	1,399	1,399	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	15.00	15.00	0.00	15.00	15.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	犬等死骸回収総件数 (体)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	1,035.0	1,072.0	1,261.0	1,384.0	0.0	0.0
指標の概要	公共用地から回収された動物等の総件数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	前年度課題なし	
成果	迅速な回収処理することにより、公衆衛生を良好な状態に保つことができた。	
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標	特になし	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	651 土砂等による土地の埋立て、盛土及びたい積の規制に関する事務					
予算科目	01-040202-16	不法投棄・土砂等の盛土対策に要する	担当部課	生活環境部環境衛生課		
市長公約			係名	不法投棄対策係		
戦略プラン			新規・継続	継続		
			事業分類	自治事務（任意）		
			事業体制	職員のみ		
個別計画			事業期間	毎年度		
根拠法令等	つくば市土砂等の埋立て等の規制に関する条例			SDGs		

事業の概要

対象	事業者
目的	生活環境の保全、災害の防止、市民の安全の確保
概要 (取組内容)	土砂等の埋立て等に関し適正な指導、監視及び許可事務を行う。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	407	361	443	526	526	
	決算額	(千円)	373	312	385	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	373	312	103	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	282	0	0
人件費	人件費計	(千円)	8,988	9,030	3,415	3,405	3,405	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.30	1.30	0.50	0.50	0.50
		正職員時間外勤務	(時間)	60.00	60.00	4.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	条例に基づく許可件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	3.0	8.0	4.0	9.0	0.0	0.0
指標の概要	土砂等の埋立て等事業の許可件数						

2	指標名	不適正残土の指導件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	5.0	2.0	3.0	2.0	0.0	0.0
	指標の概要	無許可による土砂等の埋立て等行為者への指導件数					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	土砂埋立て指導員を1名増員して、土砂埋立ての指導をより適正、迅速に行う体制を構築した。	
成果	土砂埋立て等の許可申請が9件あった。 無許可の土砂埋立て等の指導を2件行った。	
課題	業務	許可申請の数が去年より増えたが、申請通りに施工されない事例が見られたので、事業者に対し適正な施工をするよう、指導の徹底が必要である。
	組織、予算等	特になし
改善目標	適正な施工をするよう、事業者への指導を徹底する。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	652 ごみ減量推進事業					
予算科目	01-040202-17 ごみ減量に要する経費			担当部課	生活環境部環境衛生課	
市長公約	77-2			係名	計画管理係	
戦略プラン	IV-4	1	1	食品ロス削減に向けた意識啓発	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（義務）
					事業体制	一部委託
個別計画	つくば市一般廃棄物処理基本計画				事業期間	毎年度
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律等				SDGs	12つくる責任つかう責任

事業の概要

対象	市民、事業者
目的	ごみの減量や資源化を推進し、循環型社会を構築する。
概要 (取組内容)	<p>一般廃棄物減量化等推進審議会を開催する。</p> <p>災害廃棄物処理計画を策定する。（令和3年度～令和4年度）</p> <p>ごみの出し方カレンダーを作成し、市内各戸に配布する。</p> <p>ごみ分別アプリの周知、出前講座等により市民のごみ分別徹底・減量化の啓発を行う。</p> <p>日量平均100kg以上の事業系一般廃棄物多量排出事業者に対し、ごみの減量化・資源化について指導する。</p>

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	6,008	13,356	13,295	8,180	21,430	
	決算額	(千円)	3,527	25,000	17,605	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	1,331	22,742	15,651	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	2,196	2,258	1,954	0	0
人件費	人件費計	(千円)	10,306	19,615	19,618	16,023	19,254	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.40	2.60	2.60	2.10	2.60
		正職員時間外勤務	(時間)	320.00	760.00	782.00	704.00	633.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	出前講座
企画・立案、計画	一般廃棄物減量等推進審議会委員、災害廃棄物処理計画パブリックコメント手続き
実行	—
評価、検証	一般廃棄物減量等推進審議会

指標の推移

指標名	リサイクル率 (%)					成果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1 目標値	26.0	22.2	22.4	22.8	23.0	23.3
実績	21.0	21.7	23.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	(個別施策IV-4-①食品ロス削減に向けた意識啓発) 市内のごみ（一般廃棄物）総量に対する再資源化の割合					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	ごみ排出事業者への現地訪問指導及びサステナスクエアでの搬入検査を行い、意識啓発及び指導を行った。	
成果	令和5年度版ごみの出し方カレンダーをポスティングにより各戸配布した。ごみ分別アプリのダウンロード数が累計33,000件を超えた。出前講座等により、市民のごみ減量の意識啓発を行った。多量排出事業者に対し減量化計画書を提出させ、減量化・資源化推進について指導を行った。サステナスクエアで搬入検査を行い、分別が不適切な場合、収集運搬許可業者に指導を行った。	
課題	業務	事業系ごみの搬入検査で、燃やせるごみへの資源物（段ボール等）の混入が見受けられる。
	組織、予算等	特になし
改善目標	引き続き搬入検査を実施するとともに、収集運搬許可業者に加えて排出事業者への意識啓発及び指導を強化する。	

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	縮小
理由	令和3年度から令和4年度までの災害廃棄物処理計画策定業務が完了したため、事業費は縮小となる。

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	653 環境教育事業						担当部課	生活環境部環境衛生課
予算科目	01-040202-18 リサイクルに要する経費						係名	ごみ減量推進係
市長公約								
戦略プラン	IV-4	2	1	市民向け啓発事業の実施			新規・継続	継続
							事業分類	自治事務（任意）
							事業体制	職員のみ
個別計画							事業期間	毎年度
根拠法令等							SDGs	

事業の概要

対象	市民（小中学生）
目的	リサイクルへの関心を高め、将来、循環型社会の構築に資する。
概要 (取組内容)	環境教育の一環として、牛乳パック回収事業を実施し、子供たちの環境に対する意識向上に努める。 市内の学校でごみ減量及びリサイクルに関する出前授業を行う。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	849	110	55	110	110	
	決算額	(千円)	0	110	110	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	110	110	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,385	1,392	1,382	1,387	1,387	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	10.00	10.00	8.00	10.00	10.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

指標名	牛乳パック回収量 (kg)					活動結果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1 目標値	2,500.0	2,500.0	2,500.0	2,500.0	2,500.0	2,500.0
実績	2,600.0	686.0	2,129.0	1,171.0	0.0	0.0
指標の概要	(個別施策IV-4-②再資源化、再利用化の推進) 各学校で回収された牛乳パックの総量					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	前年度課題なし	
成果	牛乳パック回収を通じて、子ども達の環境意識向上を図った。	
課題	業務	紙に付着するコロナウイルス生存期間の公表や学校現場がコロナ対応に追われた。
	組織、予算等	特になし
改善目標	出前講座や3Rニュースにより、牛乳パック回収事業に関する理解を深める。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	624 資源物集団回収奨励金の交付					
予算科目	01-040202-18 リサイクルに要する経費			担当部課	生活環境部環境衛生課	
市長公約				係名	ごみ減量推進係	
戦略プラン	IV-4	2	2	リサイクル（3R）の推進	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	補助金（間接）
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等	つくば市資源物集団回収奨励金交付要綱			SDGs		

事業の概要

対象	集団回収実施団体（自治会・子供会・PTA等）
目的	資源物の有効活用推進と市民のリサイクル意識の高揚を図る。
概要 (取組内容)	資源物集団回収を行った自治会や子供会等の団体に対して、回収量に応じた奨励金を交付し、ごみの減量や3Rの推進を図る。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	4,000	3,600	3,600	3,600	3,600	
	決算額	(千円)	2,391	2,548	2,457	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	2,391	2,548	2,457	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,385	1,392	1,387	1,387	1,387	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	資源物集団回収団体登録数 (団体)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	120.0	120.0	117.0	117.0	117.0	117.0
	実績	122.0	117.0	114.0	113.0	0.0	0.0
指標の概要	(個別施策IV-4-②再資源化、再利用化の推進)自治会、子供会、PTA等で構成される集団回収実施団体の登録数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	前年度課題なし	
成果	前年度に活動された団体に引き続き登録団体申請を促したところ、多くの団体が登録された。	
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標	特になし	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	661 生ごみ処理器等購入費補助金交付					
予算科目	01-040202-18 リサイクルに要する経費			担当部課	生活環境部環境衛生課	
市長公約				係名	ごみ減量推進係	
戦略プラン	IV-4	2	2	リサイクル（3R）の推進	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	補助金（間接）
個別計画					事業期間	毎年度
根拠法令等	つくば市生ごみ処理容器等購入費補助金交付要綱				SDGs	

事業の概要

対象	市民
目的	家庭から排出される生ごみの自己処理を推進し、生ごみの減量化を図る。
概要 (取組内容)	家庭から排出される生ごみの自己処理を推進する。 生ごみ処理容器を購入した市民に対し交付要綱に基づき補助金を交付する。 [コンポスト式補助率1/2、1世帯2基まで、上限20,000円] [電気式生ごみ処理機補助率1/2、1世帯1機まで、上限20,000円] 段ボールコンポストの無料配布の実施

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	1,330	1,505	6,746	7,076	7,076	
	決算額	(千円)	1,330	1,601	5,990	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	1,330	1,601	5,990	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,745	2,759	6,896	6,835	6,835	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.40	0.40	1.00	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	10.00	10.00	35.00	10.00	10.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	生ごみ処理容器補助基数 (基)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	150.0	150.0	170.0	450.0	450.0	450.0
	実績	150.0	116.0	152.0	408.0	0.0	0.0
指標の概要	(個別施策IV-4-②再資源化、再利用化の推進) 市民が購入した生ごみ処理容器等に補助金を交付した基数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	生ごみ減量のため「3きり運動」を3Rニュース等で市民にPRした。 また、822名の市民に段ボールコンポストの無料配布を行い、生ごみ減量を推進した。	
成果	市民一人一人の意識向上が必要であることから、啓発を強化するとともに、生ごみ減量に向けた取組を積極的に進めていく。	
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標	啓発を強化するとともに、生ごみ減量に向けた取組を積極的に進める。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	946 家庭用廃食用油リサイクル事業					
予算科目	01-040202-18 リサイクルに要する経費			担当部課	生活環境部環境衛生課	
市長公約				係名	ごみ減量推進係	
戦略プラン	IV-4	2	2	リサイクル（3R）の推進	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	一部委託
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs		

事業の概要

対象	市民
目的	家庭から排出される廃食用油を再利用することで、資源の有効活用を推進するため。
概要 (取組内容)	市施設やスーパー等に設置する回収ボックスに市民が持込んだ廃食用油を回収する。 回収した油はバイオディーゼル燃料に精製され、軽油の代替燃料としてサステナスクエア内公用車や廃食用油回収車で使用する。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	2,680	2,403	2,585	2,722	2,722	
	決算額	(千円)	2,473	2,365	2,530	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	2,473	2,365	2,530	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,385	1,392	1,387	1,387	1,387	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	廃食用油回収量 (L)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	10,000.0	10,000.0	10,000.0	10,000.0	10,000.0	10,000.0
	実績	10,713.0	11,953.0	14,838.0	13,767.0	0.0	0.0
指標の概要	(個別施策IV-4-②再資源化、再利用化の推進) 市内回収箱に排出される廃食用油の回収量 (R4年度はR4.9月末現在)						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	前年度課題なし	
成果	家庭用廃食用油のリサイクルを促進した。また、バイオディーゼル燃料を利活用することにより地球温暖化防止に寄与した。	
課題	業務	廃食用油の回収量に対して精製量が少ないため、更なる利活用の検討が求められる。
	組織、予算等	特になし
改善目標	バイオディーゼル燃料の利活用方法をサステナスクエア管理課と検討する。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続	
理由	—	

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	654 リサイクル推進事業					
予算科目	01-040202-18 リサイクルに要する経費				担当部課	生活環境部環境衛生課
市長公約	76-1	76-2			係名	ごみ減量推進係
戦略プラン	IV-4	2	3	脱プラスチック社会へ向けた意識啓発	新規・継続	継続
	IV-4	2	2	リサイクル（3R）の推進	事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	一部委託
個別計画					事業期間	毎年度
根拠法令等					SDGs	

事業の概要

対象	市民
目的	資源物の有効活用と市民のリサイクル意識の向上を図る。
概要 (取組内容)	リサイクル推進を図るため3Rニュースを発行し、市民意識の醸成を図る。 落ち葉等の堆肥化等推進のための調査研究を進める。 調理くずや食べ残し等の食品残渣を活用したフードリサイクルを進める。 地域のごみ集積所に、分別促進の看板を設置する。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	0	181	75	75	75	
	決算額	(千円)	0	153	108	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	153	108	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	4,080	4,100	4,184	5,448	5,448	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.60	0.60	0.60	0.80	0.80
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	40.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	3Rニュース発行回数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	2.0	2.0	2.0	2.0	4.0	4.0
	実績	1.0	1.0	1.0	4.0	0.0	0.0
指標の概要	3Rニュースの年間発行回数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	3Rニュース及びかわら版を発行し区会回覧で配布した。	
成果	家庭からの燃やせるごみ減量を推進することができた。(前年比1.4%減)	
課題	業務	市民一人一人の分別に対する意識を向上させるための啓発強化。
	組織、予算等	特になし
改善目標	より効果的な分別及び再資源化意識向上のための啓発を行う。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	649 市内一斉清掃事業					
予算科目	01-040202-16 不法投棄・土砂等の盛土対策に要する			担当部課	生活環境部環境衛生課	
市長公約				係名	不法投棄対策係	
戦略プラン	IV-4	3	1	きれいなまちづくり推進事業の実施	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（義務）
					事業体制	一部委託
個別計画	第5次つくば市きれいなまちづくり行動計画				事業期間	毎年度
根拠法令等					SDGs	12つくる責任つかう責任

事業の概要

対象	市民、各種団体（事業者）
目的	市民の環境美化意識を高めることにより、ポイ捨て行為を抑制する。
概要 （取組内容）	原則、毎年6月と12月の第1日曜日に、各区会で道路脇にポイ捨てされたごみの清掃活動を行う。 活動を推進させるため区会等への周知を行う。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	1,056	1,848	1,848	2,033	2,033	
	決算額	(千円)	1,056	1,848	1,848	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	1,056	1,848	1,848	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,757	2,771	3,430	3,430	3,430	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.40	0.40	0.50	0.50	0.50
		正職員時間外勤務	(時間)	15.00	15.00	10.00	10.00	10.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

指標名	市内一斉清掃時ごみ回収量 (t)					成果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	23.3	0.0	0.0	16.4	0.0
指標の概要						

2	指標名	市内一斉清掃実施回数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
	実績	2.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0
	指標の概要	(個別施策IV-4-③環境美化活動の推進) 市内一斉清掃を実施した回数					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	令和2年度及び3年度は、新型コロナウイルスの影響で事業の実施がなかったが、3年ぶりに事業が実施できた。	
成果	6月5日と12月4日の2回、市内一斉清掃を実施した 6月が8,180kg、12月が8,240kgのごみを回収した。	
課題	業務	3年ぶりの開催のため、参加者が少なくなっている。
	組織、予算等	燃料費の高騰により、委託費が今後高くなっていく恐れがある。
改善目標	事業について広くPRを行い、市民の理解を得ることで参加者を増やす。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続	
理由	—	

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	650 不法投棄ごみ処理事業					
予算科目	01-040202-16 不法投棄・土砂等の盛土対策に要する			担当部課	生活環境部環境衛生課	
市長公約				係名	不法投棄対策係	
戦略プラン	IV-4	3	1	きれいなまちづくり推進事業の実施	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（義務）
					事業体制	一部委託
個別計画	第5次つくば市きれいなまちづくり行動計画				事業期間	毎年度
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				SDGs	12つくる責任つかう責任

事業の概要

対象	市民
目的	不法投棄されたごみを撤去することで、良好な生活環境を保持するとともに、再発を防止する。
概要 (取組内容)	区会や土地所有者と連携して、不法投棄物の撤去作業を行う。 再発防止のため、警告看板の設置、促進と防犯・環境美化サポーターによる巡回パトロールを行う。 区会等に不法投棄防止の周知啓発を行う。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	1,236	1,097	2,128	2,128	2,128	
	決算額	(千円)	1,157	621	1,290	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	1,157	621	1,290	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	8,988	9,030	6,879	6,884	6,884	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.30	1.30	1.00	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	60.00	60.00	28.00	30.00	30.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

指標名	不法投棄廃棄物の撤去件数 (件)					成果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	319.0	315.0	347.0	303.0	0.0
	指標の概要					

2	指標名	不法投棄ごみ回収量 (t)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	18.2	19.8	17.4	14.5	0.0	0.0
	指標の概要	(個別施策IV-4-③環境美化活動の推進) 回収した不法投棄されたごみの重量					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	再発防止のために地域に設置しているダミーカメラの管理を継続して行った。 また、ホームページを更新し、不法投棄禁止看板をインターネット上で確認できるようにして、昨年よりも多くの看板を配布した。	
成果	不法投棄の撤去 303件、14,470kg 不法投棄禁止看板配布 371枚 不法投棄を迅速に撤去し、市内の清潔を保つことにより、良好な生活環境を保持することができた。	
課題	業務	不法投棄の量は減少してはいるものの、毎年、一定以上の不法投棄が発生している。
	組織、予算等	年々、廃棄物処理にかかる費用が高騰している。
改善目標	土地の所有者（管理者）へ注意喚起を促すとともに、パトロールも強化するなど、不法投棄されにくい環境を作る。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	—